滋賀医大病院ニュース

Keeping Lake People Healthy

第43号
2014/6

●病院長就任に際してのご挨拶
●病院からのお知らせ
●第７回「まごころ職員大賞」が決定
●ヘリポートが完成しました！
●シリーズ「医療用語解説」第５回
●災害対策医療情報バックアップシステムが稼働
●肝臓病教室のご案内

「地域に支えられて世界に羽ばたく」
質の高い医療を提供し、患者さんと共に歩む病院を目指します

病院長　松末　吉隆

本年２月15日付けで病院長に就任しました。附属病院は、法人化後10年が経過し、森田・柏木両病院長の強いリーダーシップの下、職員一同の多大な努力と協力により、右肩上がりの成長を遂げてきました。昨年10月の週刊ダイヤモンド誌の特集「頼れる病院ランキング」で、全国1,205の基幹病院中２位、国立大学附属病院中１位にランクされました。これまでの病院長の強い指導力と適切な運営、地域医療機関のご支援、そして病院に勤務する教職員一同の努力の成果であります。このような素晴らしく高い評価を受けた時点で病院長を引き継いだことは、大変身の引き締まる思いであります。

当院は地域医療への貢献として、特に「がん医療」「新生児・産科医療」「救急・災害医療」の充実に取り組んでいます。今年、取り組まなければならない課題の中で、Quality Indicator（QI）(*) による医療の質向上の取り組み、次期電子カルテシステムの効率的導入や県内の病診連携ネットワーク構築など情報ネットワーク機能の充実、臨床研究開発センター機能の強化が特に挙げられます。チーム医療の一層の推進、業績へのインセンティブ、業務負担軽減への取り組みなどにより働きやすくやり甲斐のある職場環境を醸成していく必要があります。

滋賀医科大学附属病院の理念・基本方針の下に、「患者さんにやさしく、信頼と満足を与えられる医療」を目指し邁進します。そのためには、患者さんの気持ちを理解し、患者さんの目線で考え、自らに謙虚で技量を磨き、病気に対して患者さんと一緒に歩む姿勢でなければならないと考えます。大学病院は特定機能病院として、高度で先進的な医療を推進していく責務があります。また、教育病院として優秀な良き医療人を育成し地域に貢献する義務もあります。このような大学附属病院の重要な役割を推進すべく努力する所存ですので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

〈プロフィール〉　まつすえ　よしたか

出身大学	1975年	京都大学医学部卒
略　　歴	1993年	京都大学医学部（整形外科学講座）講師
	2000年	京都大学大学院医学研究科感覚運動系病態学講座 助教授
	2001年	滋賀医科大学（整形外科学講座）教授
	2005年	滋賀医科大学附属病院副院長併任
	2014年	滋賀医科大学医学部附属病院長（医療等担当理事・副学長）
専門分野	整形外科学、関節外科（膝、股関節）、スポーツ医学	

＊Quality Indicator：医療の質についての指標。病院HPで公開していますので、ぜひご覧ください。
(http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/quality/)

病院からのお知らせ

病院管理課

病衣貸与料の改定について

平成26年４月１日より、以下のとおり、病衣貸与料を改定致しました。

改定前	改定後
70円	100円

※1日あたりの料金（洗濯代込み）。

ご自身のパジャマ等をご用意される場合は、入院手続き時に「②入院受付」窓口でお知らせください。

当院では、院内感染防止や清潔保持を考慮し、できるだけ所定の病衣着用をお願いしております。

2C病棟の一般病床化について

平成26年５月１日より、２C病棟は、回復期リハビリテーション病棟から一般病棟（急性期病棟）へ転換致しました。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

回復期リハ病棟
リハビリテーション科

↓ 転換

一　般　病　棟
消化器内科
整 形 外 科
救　急　部

第７回「まごころ職員大賞」が決定

医療サービス課

「まごころ職員大賞」とは…

職員の患者サービス・接遇意識の向上を啓発することを目的に、患者さんやご家族の方々から「対応が良かった」等とご推薦をいただいた職員を表彰する制度です。

患者サービス向上委員会において、投票数422票の中から４名の職員に決定しました。

平成26年３月19日㈬に授賞式が行われ、松末病院長から表彰状と記念品の贈呈があり、ねぎらいの言葉がかけられました。

これからも、心あたたまる医療の提供を目指し、接遇向上に向けた取り組みを実施してまいります。

５Ｄ病棟看護師　芝田　暖子さん
　　遠藤　賢子さん
　　中村　文香さん
３Ｃ病棟看護師　村越　美和さん

ヘリポートが完成しました！

救急・集中治療部

附属病院の駐車場にヘリポートが完成しました。

到着した患者さんをスムーズに搬送できるように、ヘリポートから伸びる連絡ブリッジは１階の救急処置室と３階の手術室／集中治療室をつなぐエレベーターに直結しています。朝８時半から日没までの時間帯で救急車搬送では30分以上かかる患者さんがヘリコプターによる搬送の対象となります。

本学は県内唯一の特定機能病院として高度な医療を提供しており、ヘリコプター搬送によって県内全域からの受け入れが可能となるとともに、搬送時間短縮による救命率の向上が期待されます。

シリーズ「医療用語解説」第５回
～診療報酬改定について～

医療サービス課

診療報酬改定は２年ごとに行われますが、今年がその年にあたり、４月１日から治療項目の追加や点数（金額）の変更がありました。改定は診察代からお薬まで全般にわたります。診療報酬は、点数で表し、１点10円で計算します。例えば、100点（1,000円）の診療内容であれば３割負担で300円が患者さんの負担額となります。また、診療報酬は改定の度に複雑になり、計算担当者も頭を抱えることが多く、その上今回は消費税率の変更で保険外（差額ベッド、文書料等）の料金も上がり、患者さんにご迷惑ならびにご負担をお願いしているところです。

診療報酬の計算については、医科点数表に基づき行っておりますが、ご質問等ございましたら、お気軽に総合受付までお問い合わせください。

なお、この場合の診療報酬には、食事代は含みませんのでご了承ください。

国立大学病院災害対策医療情報バックアップシステムが4月から稼働しています

医療情報部

現在、すべての国立大学附属病院では紙カルテから電子カルテに移行しています。患者さんのカルテ（診療録）は電子データとしてサーバーコンピュータに保管され、厳密に管理されています。日常の運用で患者さんのデータが消えることはありませんが、地震など大規模な自然災害の時には、建物の崩壊などでサーバーコンピュータが壊れ患者さんの大切なデータが消失してしまうこともおこりえます。

このため、全国の国立大学附属病院では、患者さんのカルテ（診療録）データを東西２カ所のデータセンターに保存し、災害にそなえるシステムを整え、この４月から運用を開始しました。

平成26年度 肝臓病教室のご案内

肝疾患相談支援センター

当院では、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー等が、医療・栄養・日常生活などのテーマに沿って、肝臓に関する講義を繰り返し行っています。

診察だけでは充分に説明する時間がとれない場合が多いため、このような機会を設けています。同じ疾患を持つ患者さん同士の交流の場としても有効です。

肝疾患の患者さんとその家族、当院に通院されていない方の参加も可能です。お気軽にご参加ください。

参加無料

日　時	テ　ー　マ
平成26年 ７月２日㈬ 14：00	Ｂ型肝炎　～進行させないために
９月３日㈬ 14：00	自己免疫性肝炎と原発性胆汁性肝硬変～それってどんな病気？
11月５日㈬ 14：00	脂肪肝　～本当はこわい脂肪肝
平成27年 １月７日㈬ 14：00	肝硬変　～栄養療法のススメ
３月４日㈬ 14：00	肝がん　～いろいろな治療法
場　所：滋賀医科大学医学部附属病院　３階　第３会議室	

※都合によりプログラムが変更になる場合があります。

お問合せ、申し込みはこちらまで

滋賀医科大学医学部附属病院　肝疾患相談支援センター

☎077-548-2744（平日９：00～17：00）

滋賀医科大学医学部附属病院　理　念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します

滋賀医大病院ニュース第43号　編集･発行: 滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192　大津市瀬田月輪町
TEL: 077（548）2012（企画調整室）
過去の滋賀医大病院ニュース（PDF版）はホームページでご覧いただけます。